

CONTENTS

● 「2009楽器フェア」にてAMEIイベント開催	1
● MIDI検定試験 1級実施についての記者発表	4
● 佐々木副会長JASRACより感謝状を授与・Fluzo(CDCシステム)の2010年本格稼働のに向けた取り組みについて	5
● 委員会報告	6
● AMEI会員名簿とお知らせ	8

「2009楽器フェア」にて AMEIイベント開催



平成21年11月5日より11月8日まで4日間にわたって「2009楽器フェア」がパシフィコ横浜で開催されました。楽器・音楽関連108社が出展し、天候にも恵まれ4日間合計24,606名の入場者で賑わいました。

今回AMEIとしては、事業委員会の活動として4年ぶりの出展でしたが、展示ホールE204 (99㎡)でのAMEI会員各社のイベントは4日間を通して盛況で、満員で立ち見でも入れないイベントもあり、音楽愛好家の関心を集めました。

また楽器フェア初日にはパシフィコ横浜:M2F会議室(CM3)にてMIDI検定1級の記者発表を行い、ブースにおいてもTHE MIDIパンフレット・主要MIDI規格抜粋一覧表等の無料配布を行い、改めてMIDIについての啓蒙活動を実施しました。



2009楽器フェア AMEIイベント

2009AMEIイベント参加・協力企業

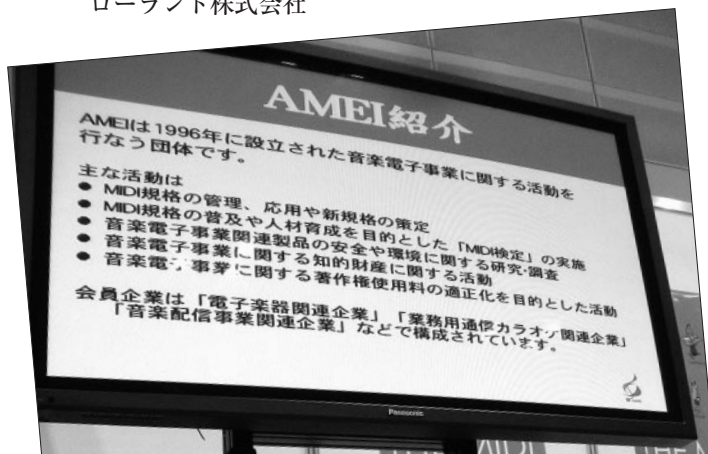
株式会社インターネット
クリプトン・フューチャー・メディア株式会社
クリムゾンテクノロジー株式会社
株式会社コルグ
学校法人尚美学園
株式会社ズーム
株式会社鈴木楽器製作所
株式会社スリック
ティアック株式会社
株式会社ディーアンドエムホールディングス
日本シンセサイザープログラマー協会
フォスター電機株式会社 フォステクスカンパニー
ヤマハ株式会社
ローランド株式会社

出展の目的

音楽・楽器愛好者が集う「楽器フェア」の場において、当協会の活動を発信することにより、音楽・楽器愛好者に認知してもらう事。又、イベントを通してAMEI会員企業の取り扱う商品・ソフトの楽しさを体験してもらい、音楽電子人口増に結びつけるとともに、会員企業の活動に役立てる事を目的とし、イベント・セミナー等にて多くの商品の紹介や音楽の楽しさをアピールすることができました。

また、ブースではAMEIの委員会・部会活動の内容や、イベントのスケジュール・内容等をパワーポイントにて紹介。特設ホームページも開設し、イベント告知等を行いました。

<http://www.amei.or.jp/musicfair2009/indexmfair2009.html>



MIDIオルゴールのデモンストレーション



「VOCALOIDのしくみと今後の展望」



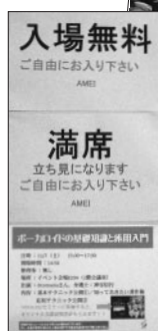
ケータイは楽器にもなる! ケータイライブパフォーマンス



生録セミナー「良い音はこう録れ」



Cubase セミナー



KEYBOARD SUMMIT 鍵盤楽器はこう弾け!



音楽電子事業協会(AMEI)イベント詳細

日 程		出 演	内 容
2009年11月5(木)	13:00~13:50 イベント会場 E204 2階会議室	「Cubase セミナー」 青木繁男	Cubase5より搭載された革命的なヴォーカルアレンジツール「VariAudio」を始め「LoopMash」「REVerence」など新機能を中心に実際のプロジェクトデータを使って説明いたします。
	14:50~15:40 イベント会場 E204 2階会議室	「SONAR セミナー」 岡崎充良	さまざまな音楽ジャンル、制作スタイルに対応、先進の音楽制作環境を備えたDAWソフトウェア「SONAR」の魅力を体験してください。
	16:20~17:20 イベント会場 E204 2階会議室	「Singer Song Writer」 小川悦司	Singer Song Writer8.0VSのアレンジ機能とVSTiを使用したバックトラックの作成、楽曲制作を体験いただけます。 また、次期Verの機能を一部紹介予定。
2009年11月6(金)	11:00~12:30 イベント会場 E204 2階会議室	生録セミナー 「良い音はこう録れ」 古山俊一	ハンディレコーダを使用して、実際の管楽器アンサンブルの生録体験をしながらCDに焼くまでの録音テクニックなどを公開。
	13:30~14:30 イベント会場 E204 2階会議室	「VOCALOIDのしくみと今後の展望」 剣持秀紀	VOCALOIDの開発者 剣持秀紀氏がVOCALOIDの技術解説と今後のVOCALOID開発の方向性について話します。 VOCALOID3についても何か聞けるかも。
	16:00~17:30 イベント会場 E204 2階会議室	「ケータイは楽器にもなる!」 山本真紀 川嶋隆宏 Mofiano mobile orchestra	MMI(Mobile Musical Interface) 規格の紹介と、M.m.o. (Mofiano mobile orchestra)によるケータイでのライブパフォーマンス。
2009年11月7(土)	11:00~12:45 イベント会場 E204 2階会議室	「ボーカロイドを使った音楽制作入門」 青木繁男	ボーカロイドを使った音楽制作入門
	13:30~14:30 イベント会場 E204 2階会議室	「MIDIガジェット」	MIDIオルゴールのデモンストレーション iPhone/iPod Touch向けアプリなど、MIDIを利用した様々なソリューションの紹介 ・MIDI検定 ・WaveSynth ・Percussions..他
	15:00~17:00 イベント会場 E204 2階会議室	「ボーカロイドの基礎知識と応用」 Otomania 神谷信行	基本テクニック公開① 知っておきたい著作権 応用テクニック公開②
VOCALOIDセミナーに参加すると、オリジナル受講証明書がもらえます!!			
2009年11月8(日)	13:00~15:00 イベント会場 E204 2階会議室	KEYBOARD SUMMIT 「鍵盤楽器はこう弾け!」 大浜和史 篠田元一 小川文明 福田裕彦	他に追従を許さない達人が得意技を弾いて見せます! 教えます!弾きまくる鍵盤楽器の醍醐味。 プレイヤー必見の技ありセミナー ナビゲーター:大浜和史 「電子ピアノはこう弾け」篠田元一 「電子オルガンはこう弾け」小川文明 「シンセサイザーはこう弾け」福田裕彦



週末は、ボーカロイドセミナー/KEYBOARD SUMMIT等、満員札止めとなる人気ぶりでしたが、その他のセミナーでも、熱心な音楽・楽器愛好家の質問が飛び交う場面も見られ、来場者に音楽のたのしさや、ちょっと変わった楽器を楽しんでいただけたことができました。

MIDI認定制度に「MIDI検定1級」を新設

MIDIの普及及びMIDIに係る人材育成を目的としてスタートしたMIDI検定は、10年を経過しました。平成11年にMIDI規格の基礎を学ぶ「3級」よりスタートし、翌年には音楽制作実務者レベル、指導者レベルを認定する「2級」をスタートいたしました。

平成14年からはコンピュータで音楽を楽しむための知識をまとめ「ミュージックメディア入門」としセミナーと検定試験を一体化した「4級」をスタートし、MIDI検定累計受験者数は3万名を越えました。

この間、MIDI検定2級取得者を対象とした指導者認定講座（4級、3級、2級）を毎年実施しMIDIの普及、指導者の育成にも力を注いで参りました。また、平成16年には中国での「MIDI検定3級」が日本と同じ日時、同じ問題でスタートしています。この年末には「改定新版ミュージックメディア入門」の中国での出版が予定されています。

MIDI検定1級の設置については、2級取得者からの要望や一般からの問い合わせも多いこともあり、MIDI検定委員会では3年前より1級についての検討をはじめ、今秋にその内容について決定しましたので2009楽器フェア初日の11月5日に楽器フェア会場にて記者発表を行いました。



記者発表をするMIDI検定委員会：大浜委員長

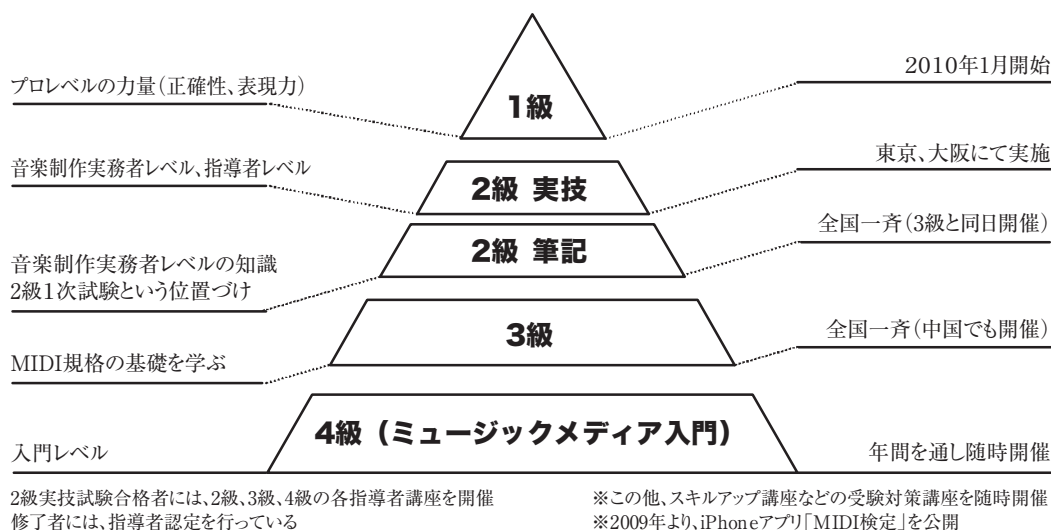
MIDI検定1級の概要

- ・MIDI検定1級では、楽譜からの音楽情報を正確かつ表現力豊かに作品として創造するプロレベルの技能を認定する。
- ・試験方法は、未発表の課題曲を一定期間内にMIDIデータならびにオーディオCDとして制作し、提出された作品を評価して可否を決定する。
- ・受験資格者は「MIDI検定2級」実技試験の合格者とする。
- ・申し込み受付期間 平成21年12月10日～25日
- ・実施期間（制作期間）平成22年1月15日～25日

MIDI検定システム

1982年に日本から誕生した電子音楽の中心となる世界標準規格「MIDI（ミディ）」の認定制度で、この規格を理解し活用できる人材の育成を目的として実施されています。MIDI規格の技術的な内容だけでなく、音楽制作に必要な知識なども含まれており、数多くの合格者が音楽制作現場や教育の現場などで活躍しています。

MIDI検定は、音楽とコンピュータの関わりなどを学ぶ入門編の4級、MIDI規格の基礎を学ぶ3級、制作や監修などの実務者レベルを認定する2級があり、この上に今回発表の1級が構成されます。



佐々木副会長 JASRACより感謝状を授与

当協会副会長佐々木隆一氏がJASRAC創立70周年記念感謝状を贈呈されました。氏は、NMRC代表世話人として、新しい音楽ビジネスの起業をめざす様々なネットワーク配信事業者への著作権の理解とその浸透に努める一方、使用料規定の整備と利用報告体制の確立など、JASRACとの合意形成に向けて類稀な指導力を発揮され、この市場における権利処理の円滑化に尽力されました。また、ネットワーク上のコンテンツ流通の多様化と変化により、複雑、かつ膨大化する著作権情報処理のための基盤の確立に向け、一般社団法人著作権情報集中処理機構の設立に中心的役割を果たされ、音楽文化産業の更なる発展のため、適切な著作権管理システムの実現に貢献されましたことが理由となっています。

佐々木副会長は「大変名誉なことである。これは自分個人というよりも業務用通信カラオケの協議にはじまりインタラクティブ配信にかかわる利用ルール制定に向け

たNMRCの設立及びその後の皆さんとの活動に対しての感謝状授与と受け止めており、会員の皆様と喜びを分かちたい。」とコメントしています。



Fluzo (CDCシステム) の2010年本格稼働に向けた取り組みについて

一般社団法人 著作権情報集中処理機構 千葉 浩

音楽配信事業における著作権処理の共通プラットフォームを構築すべく、今年3月に一般社団法人 著作権情報集中処理機構（以下「CDC」）が設立され、はや9ヶ月が経過し、もうすぐ新しい年を迎えようとしています。

CDCでは、開発ベンダーの公募・選定を終了後、7月に新事務所を千代田区神田神保町に開設し常駐スタッフを配してシステム構築に取り組んでまいりました。スタッフ常駐後は、「仕様検討分科会」、「外部連携仕様検討分科会」、「進捗報告全体会」の三つの会議体を設置し、幹事会社、開発ベンダーおよびフィンガープリント事業者とともに、後に「Fluzo」と命名されたCDCシステムの本格的な仕様検討とシステム開発の進捗状況の報告・確認作業を行っています。

「仕様検討分科会」は、幹事配信事業者様より実務担当者を招聘し、現場の意見を踏まえながら基幹システム「Fluzo」の仕様検討を行う会議体となり、今までに18回開催されています。その成果として、8月末には要件定義が完了し、12月中には基本設計が完了する予定となっています。「外部連携仕様検討分科会」は、主にフィンガープリント事業者の外部システムとの連携について検討する会議体で、フィンガープリント事業者を交えた技術的な打合せや調整を行っています。また、両分科会で検討・決定された仕様は、原則隔週ごとに開催される「進捗報告全体会」で各幹事会社に対して逐次報告されることとなります。

これまでの検討結果及び成果を踏まえまして、11月10日に配信事業者様向けの事業説明会を開催いたしました。定員を大きく上回る参加のご希望があったことに加え



説明会で挨拶をするCDC：佐々木代表理事

して、当日の説明会におきましては、フィンガープリント等の技術的な部分や今後の事業展開に関する活発な質問が寄せられ、CDCに対する皆様の期待の高さを改めて痛感いたしました。なお、参加希望者多数の為に当日ご案内できなかった方々に対しまして、12月3日に第二回目の事業説明会も開催しております。

今後のスケジュールとしましては、12月末までを第一次利用申し込み、来年3月末までを第二次利用申し込み期間としてご利用の申し込みを受け付けつつ、並行してシステムのテストを行い、2010年4月予定の「Fluzo」の稼働に向けて準備を進めていくこととなります。

CDCシステム「Fluzo」の開発にご協力いただいております関係各位に感謝申し上げますとともに、AMEI会員企業様をはじめ、数多くの配信事業者様の「Fluzo」のご利用を心よりお待ちしております。

インタラクティブ配信「最低使用料」の見直し協議の経緯

JASRAC以外の管理事業者がインタラクティブ配信の規定改定を行い月額最低使用料1,000円を規定化するとともに徴収を始めたことから、今春より、利用者側から見た負担の問題が顕在化してきました。

NMRCでは実情を把握した上で各管理事業者との協議に入るというスタンスで5月にCP各社に対し最低使用料に関するアンケート調査への協力を呼びかけ、その結果、27社からの回答協力を得、7月にアンケートのまとめを行いました。

27社という数字は過去のCP各社へのアンケートの中では異常に高いものであり、この問題への関心の高さが伺えます。また、各社のアンケートの集計の結果、サイトのDLサービスにおける最低使用料単位比率（最低使

用料対象許諾数を全許諾数で割った比率）は、最も少ない事業者でも45%で、60%を超える管理事業者もあるという実態が浮き彫りとなりました。このことを受け7月下旬には管理事業者へ、9月にはJASRACにも最低使用料に関する協議の申し入れを行うとともに、9月9日に文化庁へNMRCメンバー及びCP各社10数名が訪問し、最低使用料に関する問題点の説明と協議開始の報告をしました。その後10月よりイーライセンス及びJASRACとの協議を開始し、現在も継続中です。協議の進捗状況については引き続き著作権・ソフト委員会定例会の場にて報告するとともに皆様のご意見を伺いながら、スピード感を持って合意に向けての協議を継続してまいります。

早稲田大学理工学部協力講座、今年も開講

AMEI著作権・ソフト委員会が協力している早稲田大学理工学部の講義が、今年も開講されました。「後期授業：創造理工 知財・産業社会政策領域／国際コンテンツビジネスと著作権」は昨年、理工学部の森康見教授からの依頼を受け、AMEI、朝日新聞、JASRACの協力により始まりました。今年も森先生からの依頼を受け2009年10月より開講し、講義をAMEIとJASRACが、工場見学を朝日新聞とヤマハが担当してすすめています。AMEIからは戸叶著作権委員長（ヤマハ株式会社）と堀江音楽配信副会長（エクシング株式会社）が講師を担当しています。

受講対象は学部生（1年から4年生まで）ですが、今期は60名を超える学生と数名の社会人（AMEI加盟企業の従業員）が受講しています。11月までは森教授と戸叶委員長による著作権の概論講義と、学生自身がプロデューサーとなって音楽CDを企画・製作・販売し、それぞれの工程で注意すべき著作権をチェックするシミュレーションを課題演習として指導しました。12月第一週はJASRAC国際部の渡辺部長に、「音楽著作権の集中管理と国際的ネットワーク」をテーマに音楽配信に関する世界各国の著作権管理団体の状況、動画投稿サイトへの対応、

違法なサイトへの訴訟実例など、多岐に亘って講義をしていただきました。12月2週以降は堀江副会長による業務用通信カラオケを題材にしたケーススタディと、小グループを設定して学生が自分たちで検討しながら進める課題演習を実施しています。

毎週金曜日の夜6時15分からという、遅い時間帯に参加（自由選択講座）する学生達は知的財産に対する知識が高く、また約半数がバンドやDTMなどの音楽活動に関わっていました。将来音楽電子事業に関わる社会人として活躍してもらうことを期待しています。



早稲田大学で講義をする著作権・ソフト委員会：戸叶委員長

運営委員会 WG 報告

運営委員会（袴俊雄委員長）では、公益法人制度改革へのAMEIとしての対応を研究するWGを今年度よりスタートいたしました。

10月6日に第1回のWGをメンバー（各委員会正副委員長）に加え大内、三木両監事に参加いただき開催しました。

「公益法人制度改革の概要」について制度改革の背景から始まり、その内容、公益社団と一般社団のメリット、デメリットについて細部にわたる読み合わせおよびスケジュールを質疑を交えて実施しました。

次回までの検討事項として他団体の動向把握や、AMEIの事業の公益性についての仮説があげられ事務局の事前準備課題となりました。また、当日スケジュールの都合等により参加できなかった委員にも当日の配布資料及び議事録を送付し理解の共有を図りました。第2回のWGは11月25日に委員及び三木監事の参加により開催され、前回WGのレビューに始まり、事務局からの他団体の動向報告、AMEI各事業の公益性のシミュレーションの説明を受けての意見交換が行われました。

製品安全環境委員会 報告

製品安全・環境委員会は、安全規格部会と環境問題研究部会の2つの部会でハード製品に係わる安全上の規格、環境関連規制への対応の情報共有を目的に活動しています。

近年環境関連の規制がEUにて続々と発行されていますが、最近、電子機器を製造しているメーカーに大きな影響のあるのが、EuP (Energy-using Products) 指令です。これはエネルギー使用製品の省エネ規制です。

機器のカテゴリーごとに具体的規制内容を定めた実施措置のうち、音楽電子機器に関連する「Lot6 (待機電力)」が2010年1月から、それに続いて「Lot7 (外部電源)」が2010年4月より発効となります。

環境問題研究部会では、会員の皆様のEuP指令ご対応の一助となるべく、社団法人産業環境管理協会の松浦徹也氏を講師に迎えEuPセミナーを開催しました。セミナーには、会員企業から60名以上の参加があり、熱心な質疑が行われました。

さらにEuP指令についての理解とその対応をスムーズに進めるためにAMEI 製品安全・環境委員会として、音楽電子機器に特化した対応ガイドラインを作成いたしました。

ました。この対応ガイドラインを参考にし、エコデザインに配慮した製品が欧州市場へ供給されていくことを期待しています。



社団法人産業環境管理協会 松浦徹也氏

EuPセミナー

MIDI規格委員会 報告

MIDI規格の誕生から約25年が経過し、その間にSMFをはじめとする多くの推奨応用基準 (RP: Recommended Practice) がAMEIとMMAの間で合意されてきました。

MMAでは入会時にIPポリシーの遵守が義務化されている一方、AMEIでは存在せず、早急に作成すべきとの指摘がありました。そこでHDプロトコルなどの新しい技術標準の審議を機に、MIDI規格委員会参加にあたり、会員各社に知的財産許諾誓約書を提出頂きました。

また、先日開催された楽器フェアへのAMEI出展に際し、ボーカロイドの検定コーナー、MIDI検定や規格紹介も兼ねたMIDIガジェットとして、iPhoneアプリMIDIオルゴールなど会員各位の協力の下、デモ実演を

行いました。

MIDI 1.0部会では、MMAから提案の「MIDI 3D Control」を協議の結果RP-049として合意しました。さらに現在、ローランド社からのV-Linkのご提案を受け、MIDI Visual Control (仮称)として審議を進めています。

技術検討部会では、HD protocol技術検討を行い、スケラビリティの確保や構造の単純化を念頭に審議を進めています。また、新たな技術の検討として、5pin DINコネクタにとらわれないMIDI 1.0の研究のため、無線、USB MIDI またOSC, DMX512, AVB, RTP などの通信プロトコルについても調査研究を行っています。

NAMM2010ビジネスツアーについて

MIDI規格委員会主催のこのツアーも13回目を迎え、2010年1月13日 (水) から1月19日 (火) まで米国アナハイムを訪問します。この期間中開催されるNAMM2010ショーにあわせ、AMEIとMMAとの相互理解を深めることを目的としたミーティングを開催します。今回の会議では、MIDI Visual Control (仮称)、HDプロジェ

クト、その他テーマがあり、またNAMM最終日のMMA総会で、AMEIのMMIプロジェクトから「Qwerty」に関するプレゼンが予定されています。これらの会議に参加されないNAMM視察が目的のAMEI会員も含め、会員各位のご協力で12名の参加が決定いたしました。

会員名簿

50音順 2009年12月16日現在

あ	す	ひ
・アイデックス音楽総研株式会社	・株式会社ズーム	・株式会社BMB
・アップルジャパン株式会社	・株式会社鈴木楽器製作所	・ビーブラッツ株式会社
い	・株式会社スリック	ふ
・株式会社インターネット	せ	・株式会社フェイス
・インフォコム株式会社	・セイコーインスツル株式会社	・株式会社フェイス・ワンダワークス
え	・株式会社セガ	・株式会社フォーサイド・ドット・コム
・株式会社エクシング	そ	・フォスター電機株式会社 フォステクスカンパニー
・株式会社エムティーアイ	・ソフトバンクモバイル株式会社	・株式会社フットレック
・株式会社エンターブレイン	た	へ
お	・株式会社第一興商	・ベスタクス株式会社
・株式会社音響総合研究所	・株式会社ダイマジック	み
か	・株式会社タムラ製作所	・ミュージックノート株式会社
・カシオ計算機株式会社	て	や
・株式会社河合楽器製作所	・ティアック株式会社	・ヤマハ株式会社
き	・株式会社ディーアンドエムホールディングス	・財団法人ヤマハ音楽振興会
・株式会社キューブ	プロフェッショナル・ビジネス・カンパニー	・ヤマハミュージックトレーディング株式会社
く	と	・株式会社ヤマハミュージックメディア
・株式会社グリオ	・東映ビデオ株式会社	ら
・クリプトン・フューチャー・メディア株式会社	・有限会社トゥロッシュ	・株式会社ラグナヒルズ
・クリムゾンテクノロジー株式会社	・株式会社ドワンゴ	り
こ	に	・株式会社リットーミュージック
・株式会社コルグ	・ニフティ株式会社	・株式会社リムショット
さ	・学校法人片柳学園 日本工学院専門学校・	ろ
・株式会社サイバード	日本工学院八王子専門学校	・ローランド株式会社
・株式会社サミーネットワークス	・日本シンセサイザープログラマー協会	〈正会員会社59社〉
し	は	*賛助会員
・株式会社シーミュージック	・バイオニア株式会社	・中音公司（中華人民共和国）
・JVCネットワークス株式会社	・株式会社ハドソン	・株式会社博秀工藝
・島村楽器株式会社	・パナソニック モバイル コミュニケーションズ	・株式会社ミュージックトレード社
・学校法人尚美学園	株式会社	〈賛助会員会社3社〉
・株式会社シンクパワー		

MIDI検定1級試験実施のお知らせ

本誌掲載の第1回1級試験は平成22年1月15日から1月25日の10日間を通し実施されます。
この試験の試験会場はありませんが、上記期間中に自宅など任意の環境で、課題曲スコア（楽譜）及び制作規定書を参照に作品を制作し成果物を提出し、採点はMIDIデータを評価する1次審査と、表現力を評価する2次審査の2段階方式で行われます。

MIDI検定2級2次（実技）試験実施のお知らせ

第11回2級2次（実技）試験は次の3会場で実施されます

- 東京会場：東京ローランド会場 平成22年2月20日（土）、21日（日）
- 東京会場：東京ヤマハ会場 平成22年2月20日（土）、21日（日）
- 大阪会場：タイリンスビル 平成22年2月27日（土）、28日（日）

主催：社団法人音楽電子事業協会 協力：日本シンセサイザー・プログラマー協会
後援：（会場、機材、ソフト等の協力）㈱インターネット、㈱オービット・ミューズテクス事業部、ヤマハ㈱、ローランド㈱

AMEI NEWS 編集人 広報委員長 高橋直樹氏
（カシオ計算機株式会社）が10月20日同社を
定年退職されました。後任を広報委員長代理
石黒士郎氏（カシオ計算機株式会社）が引継
ぎます。

AMEI NEWS Vol.40 / 2009.12.16
社団法人音楽電子事業協会 機関誌
発行：社団法人音楽電子事業協会 事務局
〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-16-9 イトービル4F
TEL.03-5226-8550 FAX.03-5226-8549
発行人：岩崎修三
編集人：石黒士郎（広報委員会）
編集協力：株式会社 博秀工藝
ホームページアドレス：<http://www.amei.or.jp/>